

2017-B

VI64B

拠出金・基金  
の名称

東南アジア教育大臣機構拠出金

種 別

イヤマークのみ 一部イヤマーク

【拠出先の国際機関名】東南アジア教育大臣機構(SEAMEO)

【所管官庁担当局課・室名】文部科学省大臣官房国際課

【当該任意拠出金の目的・用途等】

国連決議に基づき、ユネスコを主導機関として、持続可能な社会の担い手を育むための教育、いわゆる「持続可能な開発のための教育」(Education for Sustainable Development:ESD)に関する国際的な取り組みが行われている。本拠出金は、SEAMEO加盟国内の小・中・高等学校におけるESDの優良な実践例(第1位～3位)を表彰することで、域内のESDへの取組を促進することを目的とした「SEAMEO-Japan ESD Award」の運用資金としてSEAMEOへ拠出しているものであり、審査委員会の実施、授賞式の実施、受賞校への賞金及び第1位の学校を対象とした日本のユネスコスクールとの交流等を内容とする日本スタディーツアーの実施に使われる。

【最近3年間の我が国支払額及びODA率】

単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千 )	レ ー ト	ODA率(%)
平成29年度	2,000	18		1米ドル=112円	100
平成28年度	2,000	17		1米ドル=120円	100
平成27年度	2,000	18		1米ドル= 110円	100

【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】

我が国にとって、SEAMEOはASEAN全域との関係を強化できる重要なパートナーであり、成長著しいASEANの人材育成に我が国が貢献することは大変有意義。本拠出金により、2017年度はSEAMEO-JapanESD Awardを実施。同事業は、我が国が推進するESD概念を積極的にSEAMEO加盟国全体へ発信するものであり、2012年から2017年まで6回の開催で通算445校のエントリーがあり、同事業を通じたESD概念の浸透が伺える。また、SEAMEO事務局に拠出することで、SEAMEO加盟国全体を対象に事業を実施し、影響を及ぼせるものとして評価できる。

【備考】